

EU Indicators

欧州経済指標コメント：1月ユーロ圏消費者物価(速報)

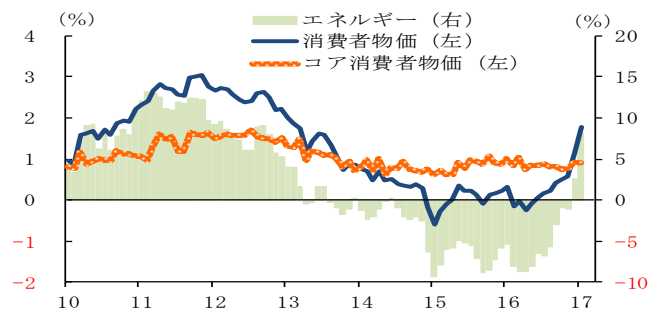
発表日：2017年2月1日(水)

～高まるドラギ総裁への圧力～

第一生命経済研究所 経済調査部
 首席エコノミスト 田中 理
 03-5221-4527

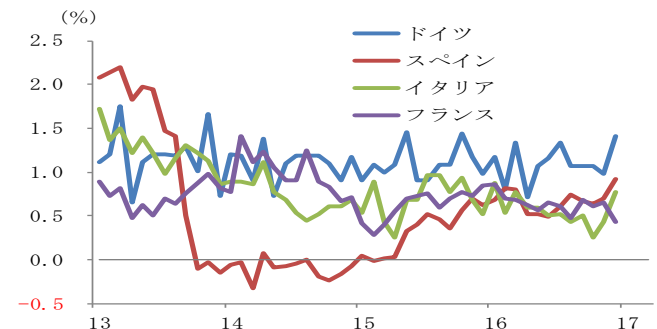
- 1月31日に発表された1月のユーロ圏の消費者物価の速報値は、前年比+1.8%と前月の同+1.1%から大幅に加速し、ECBの掲げる「2%をやや下回る」中期的な物価安定水準に近づいた。速報段階で入手可能な内訳は、コア物価（食料・アルコール飲料・たばこ・エネルギー除く）が同+0.9%と前月から横這い、エネルギー価格（前月：同+2.6%→今月：同+8.1%）と食料・アルコール飲料・たばこ価格（同+1.2%→同+1.7%）の上昇率加速が全体の計数を押し上げた。
- 速報段階で入手可能な国別計数は（ベルギーを除いたEU統一基準）、ドイツ（同+1.7%→同+1.9%）、フランス（同+0.8%→同+1.6%）、スペイン（同+1.4%→同+3.0%）、ベルギー（同+2.03%→同+2.65%）が揃って上昇率が加速した。
- 前月のコア物価の上昇率加速は、ドイツ、スペイン、イタリアで月毎の変動が大きいパッケージ旅行や航空運賃が上降れしたことで、同+0.1ポイント程度押し上げられていた模様。今月は反動減が出ると見込まれたものの、前月と同率にとどまった。国別・費目別の詳細な内訳は22日発表の確報結果を待つ必要があるが、サービス価格（同+1.3%→同+1.2%）の上昇率が縮小し、エネルギーを除く財価格（同+0.3%→同+0.5%）の上昇率が加速したことからは、パッケージ旅行など一過性の上振れ要因が剥落したものの、財価格に新たな押し上げ要因が働いた可能性がある。フランスとスペインの上昇率加速が際立っており、同国で衣料品価格の上昇などが物価の押し上げに働いた可能性がある。一過性の要因があるにせよ、やはりコア物価のトレンドも底打ち傾向にあるとみた方が良さそうだ。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
 出所：Eurostat

■ユーロ圏：主要国のコア消費者物価（統一基準、前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2016					2016							2017
	1Q	2Q	3Q	4Q	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
消費者物価（前期比）	-0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2	0.0	-0.0	0.1	0.2	0.0	0.3	0.2
（前年比）	0.0	-0.1	0.3	0.7	-0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.5	0.6	1.1	1.8
コア消費者物価（前年比）	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9
食料/アルコール/たばこ（前年比）	0.8	0.9	1.1	0.8	0.9	0.9	1.4	1.3	0.7	0.4	0.7	1.2	1.7
食料（前年比）	0.6	0.6	0.9	0.5	0.6	0.6	1.3	1.1	0.4	0.0	0.4	1.1	-
アルコール（前年比）	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	1.0	1.1	0.9	0.7	-
たばこ（前年比）	2.2	2.5	2.3	2.3	2.7	2.7	2.4	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	-
エネルギー（前年比）	-7.4	-7.7	-5.1	0.2	-8.1	-6.4	-6.7	-5.6	-3.0	-0.9	-1.1	2.6	8.1

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。